

ヒポクラテスの誓い

私はここに医神アポロおよびすべての男神と女神にかけて、この宣誓と聖約書を私の能力と判断力のおよぶ限り全うすることを誓う。

私は医術を私に授けた人を自分の親のように敬まい、資産を共にし、困っているときには必要なものを用立てる。またこの人の子孫を自分の兄弟のようにみなして、彼らが学びたければ報酬や契約なしにこの術を教える。私は自分の息子だけでなく、私の師の息子と医の掟に則る聖約と宣誓に縛られる弟子にも、指針を示し講義を行い指導法をつくして医術を授ける。

私が採用する養生法は、私の能力と判断に従って患者のためになるべきものであり、患者に害悪をおよぼすものであってはならない。たとえ懇望されてもだれにも致死薬を投与しない。またこのようなことを勧めることもしない。とりわけ婦人の流産の手助けをすることはしない。どの家を訪れてもそれは病人のために行くのであって、あらゆる悪行や不正行為は差し控える。とりわけいかなる誘惑の行為も慎む。これは相手が男でも女でも、また奴隷でも自由人であっても同じことである。患者の診療の際あるいはそれ以外の場でも個人の生活について見聞したことはどんなことでも言いふらすべきではないが、このようなことは神聖な秘密として沈黙を守る。私の生活と医術をいつまでも清らかで神聖なものとする。

もしこの誓いを全うしてこれを反故にすることがなければ、常にすべての人の信望を得て生活と医術の両方を享受できる身にならんことを。もしこの誓いにそむき、これを破るならば、逆の運命のもたらされんことを。